



「消防団協力事業所表示制度」 表示マーク審査委員会を開催

防災課

地域防災の中核的存在である消防団ですが、年々、団員数が減少し、また、特に全消防団員の約7割が被雇用者であることから、事業所の消防団活動への一層の理解と協力を得ることが必要になっています。

このような状況から、消防庁では、事業所として勤務時間中の消防団活動に対して便宜を図ったり、地域防災のために従業員の消防団への入団促進を図っていることが、地域に対する社会貢献及び社会責任として広く知られて顕彰され、当該事業所の信頼性の向上につながるとともに、事業所の協力を通じて地域の防災体制が一層充実される仕組みである「消防団協力事業所表示制度」を構築するため、今年度、検討会を開催し、運用方法等の検討を進めております。

これに併せ、この制度において消防団活動に協力している事業所に表示するマークを広く募集していましたが、全国の皆様から768作品にも及ぶたくさんのご応募をいただきました。

このご応募をいただいた作品の審査を行うため、平成18年9月21日(木)に、「消防団協力事業所表示制度」表示マーク審査委員会を開催しました。

たくさんの素晴らしい作品の中から最優秀作品1点を選ぶことは、困難を極めました。松本零士審査委員長

を中心に、事業所の消防団への協力を表現し、品格のある作品を選んでおります。

今後は、類似・模倣作品の確認を行い、最優秀作品1点を発表する予定です。

「消防団協力事業所表示制度」表示マーク審査委員

(五十音順敬称略)

委員長

松本 零士 漫画家

委員

秋本 敏文 財団法人日本消防協会理事長

加藤 久明 デザイナー

日本デザイン学会名誉会員

小出由美子 株式会社NHKエデュケーショナル

美術教養部部長

水前寺清子 歌手 消防応援団世話人

中島 芳昭 日本商工会議所理事・事務局長

○応募作品

作品数：768作品

募集期間：平成18年6月19日(月)

～平成18年8月11日(金)



審査委員会の様子
(中央奥が松本零士審査委員長)



審査委員の皆様